

決算審査特別委員会会議録

会議年月日	令和5年9月1日（金）		
開 会	午前10時30分	閉 会	午前10時49分
場 所	全員協議会室		
出席委員 (29名)	委員長 岡田 信俊 副委員長 米村 京子 委員 柳 大地 玉木 裕一 岡田 実 坂根 政代 谷口 明子 西尾 彰仁 中山 明保 雲坂 衛 加嶋 辰史 金田 靖典 岩永 安子 勝田 鮮二 浅野 博文 加藤 茂樹 吉野 恭介 星見 健蔵 魚崎 勇 西村紳一郎 足立 考史 太田 縁 吉田 博幸 伊藤 幾子 長坂 則翁 石田憲太郎 寺坂 寛夫 砂田 典男 上杉 栄一		
欠席委員	水口 誠、秋山 智博		
委員外議員	なし		
事務局職員	局長 保木本英明 局次長 植田 光一 参事 遠藤 全 局長補佐 毛利 元 議事係長 谷島 孝子 庶務係主幹 石田久美子 議事係主任 橋本 圭司 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	なし		
傍 聴 者	1名		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前10時30分 開会

開会、委員長の互選

◆上杉栄一委員 ただいまから、決算審査特別委員会を開会いたします。

本日は、特別委員会設置後、初めての委員会でありますので、委員長が互選されるまで年長の私が、委員長の職務を行います。

始めに欠席委員について御報告いたします。水口誠委員及び秋山智博委員より、病氣療養のため、本日の委員会を欠席する旨の届出がありましたので、御報告いたします。

これより、委員長の互選を行います。委員長の互選については、会議規則第126条第1項の規定により投票で行います。

なお、この投票には委員長の職務を行っている者にも投票権がありますので申し添えます。それでは、これより投票により委員長の選出を行います。

ただいまの出席委員数は29名であります。

投票用紙を配付させます。

[投票用紙配付]

◆上杉栄一委員 投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆上杉栄一委員 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

[投票箱点検]

◆上杉栄一委員 異常なしと認めます。

それでは、投票用紙に単記無記名で記入ください。

投票箱を巡回させますので投票箱に投票願います。

[各委員順次投票]

◆上杉栄一委員 投票漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆上杉栄一委員 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

それでは開票を行います。

[開票]

◆上杉栄一委員 結果を御報告いたします。

投票総数 29 票、これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち有効投票 28 票、無効投票 1 票、有効投票中、岡田信俊委員 28 票。以上のとおりであります。

したがって、岡田信俊委員が委員長に当選されました。

それでは、就任の御挨拶をお願いいたします。

以上で、私の職務を終わります。

[上杉栄一委員 自席、岡田信俊委員 委員長席]

◆岡田信俊委員長 失礼いたします。ただいま決算審査特別委員会委員長を拝命いたしました岡田信俊でございます。大役でございますが、皆様の御協力の下、滞りなく委員会を進めてまいりたいと思っておりますので御協力のほど、よろしくをお願いいたします。

（拍手）

副委員長の互選

◆岡田信俊委員長 これより、副委員長の互選を行います。副委員長の互選については、会議規則第 126 条第 1 項の規定により投票で行います。

なお、この投票には委員長にも投票権がありますので申し添えます。

それでは、これより投票により副委員長の選出を行います。

ただいまの出席委員数は 29 名であります。

投票用紙を配付させます。

[投票用紙配付]

◆岡田信俊委員長 投票用紙の配付漏れはありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊委員長 配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

◆岡田信俊委員長 異常なしと認めます。

それでは、投票用紙に単記無記名で記入ください。

投票箱を巡回させますので投票箱に投票願います。

〔各委員順次投票〕

◆岡田信俊委員長 投票漏れはありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊委員長 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

それでは開票を行います。

〔開票〕

◆岡田信俊委員長 結果を御報告いたします。

投票総数 29 票、これは先ほどの出席委員数に符合いたしております。

そのうち有効投票 28 票、無効投票 1 票、有効投票中、米村京子委員 28 票。以上のとおりであります。

したがって、米村京子委員が副委員長に当選されました。それでは、就任の御挨拶をお願いします。

〔米村京子委員 副委員長席〕

◆米村京子副委員長 決算審査特別委員会の副委員長に任命されました米村京子でございます。

委員長を補佐し、会が円滑に、順調に行きますよう努めてまいります。どうかよろしく願いいたします。

（拍手）

分科会の設置及び審査区分について

◆岡田信俊委員長 続きまして、分科会の設置及び審査区分についてお諮りしたいと思います。

審査のため、4つの分科会を設置し、分科会の審査区分については、お手元に配付のとおりとしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊委員長 御異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

分科員の選任

◆岡田信俊委員長 続きまして、分科員の選任を行います。分科員の選任につきましては、委員長において指名したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- ◆岡田信俊委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。
分科員につきましては、お手元に配付のとおり指名します。

分科会長、分科副会長の選任

- ◆岡田信俊委員長 次に、分科会の会長及び副会長の選任を行います。本件につきましては、委員長が指名したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- ◆岡田信俊委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。

総務企画分科会は会長に砂田典男委員、副会長に長坂則翁委員、福祉保健分科会は会長に星見健蔵委員、副会長に秋山智博委員、文教経済分科会は会長に浅野博文委員、副会長に金田靖典委員、建設水道分科会は会長に勝田鮮二委員、副会長に加藤茂樹委員をそれぞれ指名いたします。

金田委員。

- ◆金田靖典委員 福祉保健分科会に関しまして、秋山智博委員が今議会中欠席ということになっておるんですけども、これについての取扱いはどうされるのか、御指示いただければと思います。
- ◆岡田信俊委員長 確認させていただきますので、暫時休憩させてください。

午前10時46分 休憩

午前10時48分 再開

- ◆岡田信俊委員長 休憩を終了し、会議に戻ります。

この会議に秋山委員が戻ってこられる可能性もあるわけですので、このまま指名させていただきます。金田委員。

- ◆金田靖典委員 先ほどの報告では、本定例会中は欠席するということでしたので、この委員会中も出てこれないということになるのではないかと思うんですけども、そのあたりの取扱いを御指示ください。

- ◆岡田信俊委員長 途中取り下げて出てこられる場合も考えられますので、このまま副分科会長として指名させていただきます。金田委員。

- ◆金田靖典委員 分かりました。そういうことでの対応ということで。

- ◆岡田信俊委員長 その他ございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- ◆岡田信俊委員長 それでは、本日はこれで終了といたします。

午前10時49分 閉会

決算審査特別委員会

日 時 令和5年9月1日（金）
本会議終了後
場 所 7階 全員協議会室

日 程

- 1 開 会
- 2 委員長の互選
- 3 副委員長の互選
- 4 分科会の設置及び審査区分について
- 5 分科員の選任
- 6 分科会長、分科副会長の選任
- 7 閉 会

決算審査特別委員会審査区分一覧

令和5年9月1日

総務企画分科会

- ・ 総務部の所管に属する事項
- ・ 危機管理部の所管に属する事項
- ・ 企画推進部の所管に属する事項
- ・ 市民生活部の所管に属する事項
- ・ 選挙管理委員会の所管に属する事項
- ・ 監査委員の所管に属する事項
- ・ 公平委員会の所管に属する事項
- ・ 他の常任委員会の所管に属しない事項

福祉保健分科会

- ・ 福祉部の所管に属する事項
- ・ 健康こども部の所管に属する事項
- ・ 病院事業の所管に属する事項

文教経済分科会

- ・ 経済観光部の所管に属する事項
- ・ 農林水産部の所管に属する事項
- ・ 教育委員会の所管に属する事項
- ・ 農業委員会の所管に属する事項

建設水道分科会

- ・ 都市整備部の所管に属する事項
- ・ 下水道部の所管に属する事項
- ・ 水道事業の所管に属する事項

決算審査特別委員会分科会員名簿

令和5年9月1日

総務企画分科会

砂	田	典	男	長	坂	則	翁
柳		大	地	岡	田		実
西	尾	彰	仁	伊	藤	幾	子
上	杉	栄	一				

福祉保健分科会

星	見	健	蔵	秋	山	智	博
玉	木	裕	一	坂	根	政	代
谷	口	明	子	岩	永	安	子
西	村	紳	一 郎	寺	坂	寛	夫

文教経済分科会

浅	野	博	文	金	田	靖	典
中	山	明	保	加	嶋	辰	史
米	村	京	子	吉	野	恭	介
石	田	憲	太 郎	岡	田	信	俊

建設水道分科会

勝	田	鮮	二	加	藤	茂	樹
水	口		誠	雲	坂		衛
魚	崎		勇	足	立	考	史
太	田		縁	吉	田	博	幸